

出張報告書

平成30年11月2日

釧路市議会議長 渡辺慶蔵様

会派名 公明党議員団

代表者名 月田光明



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	月田光明
出張先	函館市
期間	平成30年10月31日 ～ 平成30年11月1日 (2日間)
用務	①水産関係研究機関の連携に至る経緯と取り組み
調査(研修)結果等の概要	別紙「政務調査等報告書」を添付
備考	

注)1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。

2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

政 務 調 査 等 報 告 書

①調査・研修・要請・その他

平成30年11月2日

日 程	自 平成30年10月31日(水) 至 平成30年11月01日(木)	2日間	報 告 者	月田光明
参加者氏名	月田光明			
調査項目	①水産関係研究機関の連携に至る経緯と取組み			
出張先	函館市			
訪問先	函館市水産・海洋総合研究センター			
調査内容 要 旨	<p>○平成15年、民間団体を中心に国際水産・海洋都市構想を策定 同21年には推進機構(一般財団法人)を設立</p> <p>○同26年6月、市が函館市国際水産・海洋総合研究センターを建設、オープン 財源は、合併特例債を活用(約45億円)</p> <p>○背景に、水産関連就業者が減少(特に、16~45歳が激減傾向)しつつある 中で、新たな水産・海洋都市づくりを模索する必要があった</p> <p>○函館市の強みを生かした活性化対策として、水産・海洋問題に係る知見を集積 し連携効果を最大化させるために関係機関の集合が重要となった</p> <p>○北大水産学部、公立はこだて未来大学、函館高専、道立函館水産試験場 共和コンクリート工業(株)、(株)鉄山協和組、(株)ソニック、(株)エコニクス等が入居</p> <p>○入居機関による共同研究として、 「発酵・競争吸着法による水産加工残渣(イカゴロ)の脱カドミニウム飼料化 技術の開発」など4本に取り組んでいる</p> <p>○オープン後、海洋研究開発機構等との包括連携協定を締結 また、韓国国立釜慶大学校 水産科学研究所とも連携協定に調印</p> <p>○昨年、今年と不漁が続く「イカ」の養殖技術を確立するために生態調査に着手 した</p>			
	添付資料	①説明資料 ②名刺コピー ③スナップ写真		
経 費	旅費	42,080円	人件費	
	交通費	4,920円	事務所費	
	宿泊費	9,500円	その他	
	会場費		合 計	56,500円
	参加料			
備 考				

確 認 印	月田団長	松橋幹事長	河合会計	秋田議員

